

式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人 田中育英会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
商業実務 専門課程	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) フライトアテンダントコース		1836 時間	80×2＝ 160時間	1
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドスタッフコース		1836 時間	80×2＝ 160時間	2
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドハンドリングコース		1836 時間	80×2＝ 160時間	3
	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) エアラインビジネス・大学コース		1836 時間	80×2＝ 160時間	4
	ホテル科 (2年制) サービススタッフコース		1764 時間	80×2＝ 160時間	5
	ホテル科 (2年制) ホテルビジネス・大学コース		1764 時間	80×2＝ 160時間	6
	観光・ツーリズム科 (2年制) トラベルスタッフコース		972 時間	80×2＝ 160時間	7
	観光・ツーリズム科 (2年制) ニューツーリズムコース		972 時間	80×2＝ 160時間	8
	観光・ツーリズム科 (2年制) ツーリズム開発・大学コース		972 時間	80×2＝ 160時間	9
	鉄道交通科 (2年制) 鉄道・運輸コース		1476 時間	80×2＝ 160時間	10
	鉄道交通科 (2年制) 鉄道ビジネス・大学コース		1476 時間	80×2＝ 160時間	11
	ブライダル科 (2年制) プランナーコース		1692 時間	80×2＝ 160時間	12
	ブライダル科 (2年制) ビューティーコンシェルジェコース		1656 時間	80×2＝ 160時間	13
	ブライダル科 (2年制) ライフイベントプロデュース・大学コース		1908 時間	80×2＝ 160時間	14
	総合ビジネス科 (2年制) 事務エキスパートコース		1548 時間	80×2＝ 160時間	15
	総合ビジネス科 (2年制) 好きなことを仕事にするコース		1548 時間	80×2＝ 160時間	16
	総合ビジネス科 (2年制) 大学コース		1548 時間	80×2＝ 160時間	17
	大学併修学科 (4年制)		3240 時間	80×4＝ 320時間	18
文化教養 専門課程	英語キャリア科 (2年制) キャリアデザインコース		900 時間	80×2＝ 160時間	19
	英語キャリア科 (2年制) 海外留学コース		936 時間	80×2＝ 160時間	20
	英語キャリア科 (2年制) グローバルビジネス・大学コース		900 時間	80×2＝ 160時間	21
備考:					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄に○あり。

(掲載：<https://www.technosac.jp/department/syllabus/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人 田中育英会

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している (掲載： https://www.technosac.jp/department/syllabus/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学名誉教授	2020/4/1- 2025/3/31	教育全般に対する提案・指導・チェックや、大学関連者との橋渡しを期待する。
非常勤	飲食関連顧問	2020/4/1- 2025/3/31	飲食関連をはじめ、ホテルや観光関連に関する知見を元に関連教育へ生かしていただく。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) エアラインサービス科(2年制)、ホテル科(2年制)、観光・ツーリズム科(2年制)、鉄道交通科(2年制)、プライダル科(2年制)、総合ビジネス科(2年制)、研究科(1年制)、大学併修学科(4年制)、英語キャリア科(2年制) [作成について] 各授業科目については毎年度系部長会議により授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員が作成する。 授業科目名、必要時間数、担当教員名、到達目標・テーマ、講義内容、授業計画、成績評価方法、教科書等に関する事項は全科目共通に記載することが必須であり学内統一様式でシラバスを作成している。 [時期について] 翌年度の講義予定は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会で承認を受ける。 3月中に翌年度分のシラバスをHPに公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.technosac.jp/department/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 「学則」「学生生活のしおり」において成績評価、履修について規定している。 各学科で定める授業科目の試験(レポート、小テスト等を含む)により成績評価を行っている。</p> <p><参考> 学則第21条 校長は教育課程の定めるところにより、修了すべき教科目を試験等による評価のうえ修了したと認める者には当該教科目の修了を認定する。</p> <p>学生生活のしおり (掲載：https://www.technosac.jp/current/) V-1-6 成績評価 (1) 成績は定期試験、小テスト、レポート、提出物、学習態度、出席率の総合評価によって決定される。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価においてはG P Aを導入し、学内の成績評価として使用している。 G P Aは学生の履修した科目あたりの平均成績を指す。 本校では独自奨学金、学業優秀者の選考資料として教員会議で活用している。 学業成績は授業科目ごとに行う試験（定期試験、小テスト、レポート等）によって評価される。評価点数により100～90点をS、89点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をCとして通知する。</p> <p>成績評価方法についてはHPで公開するほか、学生生活のしおりに掲載し入学時オリエンテーションで新入生に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 東京エアトラベル・ホテル専門学校は人生100年時代で多様化する社会に対応するため専門性・人間力・総合力の本質的な力を持った「本物の職業人」を育成することを目的としている。 卒業要件については各学科定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格する事を定めている。詳細についてはディプロマポリシーはじめ学則、学生生活のしおりに掲載しており、HPに公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPへの掲載 https://www.technosac.jp/department/syllabus/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	法人本部にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) フライトアテンダントコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3114 単位時間	0 単位時間	594 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサ ービス科の内数)	
160人		11人	0人	1人	20人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドスタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3114 単位時間	0 単位時間	594 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサ ービス科の内数)	
160人		3人	0人	1人	20人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) グランドハンドリングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3114 単位時間	0 単位時間	594 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサ ービス科の内数)	
160人		1人	0人	1人	20人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	エアラインサービス科 昼間制 (2年制) エアラインビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3330	0	594	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員数 (エアラインサービス 科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	兼任教員数 (エアラインサービ ス科の内数)	総教員数 (エアラインサ ービス科の内数)	
160人		1人	0人	1人	20人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2022年度 エアラインサービス科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等）			
<p>（就職指導内容）</p> キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1級、2級） AXESS スペシャリスト検定（国内・国際準1級、2級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状（2022年度 エアラインサービス科の状況）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	2人	25.0%
<p>（中途退学の主な理由）</p> 進路変更 出席不良からの成業不可		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2022年度 エアライン科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	3人 (16.7%)	15人 (83.3%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ANA 沖縄空港株式会社 ANA 大阪空港株式会社 CebuPacificAir JAL スカイエアポート沖縄株式会社 アシアナグランドサービス コナラッド東京 羽田空港サービスグループ 羽田空港サービス株式会社 株式会社 FMG 株式会社 JAL グランドサービス 株式会社 JAL スカイ			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコル検定 航空検定(1級、2級) AXESS スペシャリスト検定(国内・国際準1級、2級)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状(2022年度 エアライン科の状況)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	2人	8.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、金銭的な理由による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
2022年度 エアポートサービス科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) サンエー航空サービス株式会社 株式会社 JAL グランドサービス 中国広島地区総代理店中国ターミナルサービス			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 観光英語検定 実用英語検定 TOEIC みんなの英語検定 マナー・プロトコール検定 航空検定（1級、2級） アマデウスシステム検定（初級・中級）			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状（2022年度 エアポートサービス科の状況）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホテル科 (2年制) 昼間制 サービススタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1494 単位時間	0 単位時間	1116 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ホテル科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ホテル科の内数)	兼任教員数 (ホテル科の内数)	総教員数 (ホテル科の内 数)	
120人		29人	0人	1人	22人	23人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ホテル科 (2年制) 昼間制 ホテルビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1710 単位時間	0 単位時間	1116 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ホテル科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ホテル科の内数)	兼任教員数 (ホテル科の内数)	総教員数 (ホテル科の内 数)	
120人		15人	0人	1人	22人	23人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 ホテル科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	7人 (25.9%)	16人 (59.2%)	4人 (14.8%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>TSI ホールディングス うかい エミシア東京立川 ハイアットリージェンシー東京 プリンスホテル ベストホスピタリティネットワーク マイステイズホテル ミリアルリゾートホテルズ ラ・パルレ 株式会社横浜グランドインターコンチネンタルホテル 京王プラザホテル 森ビルホスピタリティコーポレーション 大江戸温泉物語 帝国ホテル 東急ホテルズ 日本ホテル 等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>レストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、秘書検定、マナープロトコール検定、英語検定、パソコン検定、観光英語検定、手話検定など</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59人	4人	6.8%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>進路変更 精神的に通学困難</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任・副担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	観光・ツーリズム科 (2年制) 昼間制 ニューツーリズムコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2808	0	684	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員数 (観光ツーリズム科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (観光ツーリズム科 の内数)	兼任教員数 (観光ツーリズム科 の内数)	総教員数 (観光ツーリス ム科の内数)	
60人		3人	0人	1人	23人	24人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	観光・ツーリズム科 (2年制) 昼間制 ツーリズム開発・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	3024 単位時間	0 単位時間	684 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (観光・ツーリズム科 の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (観光・ツーリズム 科の内数)	兼任教員数 (観光・ツーリズム 科の内数)	総教員数 (観光・ツーリ ズム科の内数)	
60人		1人	0人	1人	23人	24人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れる。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教える。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 観光・ツーリズム科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2022年度 観光旅行科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 観光旅行科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	2人 (40.0%)	2人 (40.0%)	1人 (20.0%)
(主な就職、業界等) アエラスグループ 株式会社リブリッチ JR 東日本サービスクリエーション ヤマダ電機			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2022年度 観光旅行科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	1人	14.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	鉄道交通科 (2年制) 昼間制 鉄道・運輸コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2214 単位時間	0 単位時間	828 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (鉄道交通科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (鉄道交通科の内数)	兼任教員数 (鉄道交通科の内数)	総教員数 (鉄道交通科の内数)		
80人	18人	0人	1人	23人	24人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	鉄道交通科 (2年制) 昼間制 鉄道ビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2430 単位時間	0 単位時間	828 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (鉄道交通科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (鉄道交通科の内数)	兼任教員数 (鉄道交通科の内数)	総教員数 (鉄道交通科の内数)	
80人		4人	0人	1人	23人	24人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 鉄道交通科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	1人 (5.9%)	16人 (94.1%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>JR 東日本ステーションサービス JR 北海道 あいの風とやま鉄道 株式会社 A' Train 株式会社 KSP 株式会社ニチイ 小田急リゾート 新北斗警備保障株式会社 神奈川臨海鉄道 西武バス 千葉鉄道サービス 全日警 東京地下鉄株式会社 日本貨物鉄道株式会社 等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>国内・総合旅行業務取扱管理者、サービス介助士、観光英語検定、手話検定など</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31人	1人	3.2%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>他界</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	ブライダル科 (2年制) 昼間制 プランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2124 単位時間	0 単位時間	1458 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (ブライダル科の内数)	生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ブライダル科の内 数)	兼任教員数 (ブライダル科の内 数)	総教員数 (ブライダル科 の内数)		
120人	16人	0人	2人	27人	29人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	プライダル科 (2年制) 昼間制 ビューティーコン シエルジュコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2088	0	1458	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員数 (プライダル科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (プライダル科の内 数)	兼任教員数 (プライダル科の内 数)	総教員数 (プライダル科 の内数)	
120人		14人	0人	2人	27人	29人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	プライダル科 (2年制) 昼間制 ライフイベントプロデューサー・大学コース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2304 単位時間	0 単位時間	1458 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (プライダル科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (プライダル科の内数)	兼任教員数 (プライダル科の内数)	総教員数 (プライダル科の内数)	
120人		14人	0人	2人	27人	29人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 ブライダル科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	5人 (21.7%)	16人 (69.6%)	2人 (8.7%)
(主な就職、業界等) BP アニヴェルセル ウェスティンホテル テイクアンドギブニーズ ニューアート・シーマ RMK プリンズホテル ミリアルリゾート らかんスタジオ 曾我 丸美屋 株式会社BANKAN ワカモノヤ着物 株式会社ティア 株式会社八芳園 帝国ホテル ホテル目黒雅叙園東京 明治記念館 うかい等			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろ、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) ブライダルコーディネーター技能検定3級 色彩検定 フォーマルウェア検定 IWPA ウェディングプランナー英国資格 内閣府認可(財)職業技能振興会認定ウェディングプランナー資格 観光英語検定 パーソナルカラー検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	3人	6.25%
(中途退学の主な理由) 進路変更 就職 体調不良(精神疾患)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 事務エキスパートコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1890	0	1116	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員数 (総合ビジネス科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	兼任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	総教員数 (総合ビジネス 科の内数)	
40人		3人	0人	1人	14人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 好きなことを仕事にするコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	1890 単位時間	0 単位時間	972 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (総合ビジネス科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (ビジネスマナー・秘書科の内数)	兼任教員数 (ビジネスマナー・秘書科の内数)	総教員数 (ビジネスマナー・秘書科の内数)	
40人		0人	0人	1人	14人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2178 単位時間	0 単位時間	936 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (総合ビジネス科の 内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	兼任教員数 (総合ビジネス科の 内数)	総教員数 (総合ビジネス 科の内数)	
40人		1人	0人	1人	14人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 総合ビジネス科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策(SPI)・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 秘書検定2級、秘書検定準1級、色彩検定、マナープロトコール検定3級 Microsoft 検定(Excel・Word・PowerPoint)、観光英語検定、手話検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 ※2022年度 総合ビジネス科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
※2022年度 ビジネスマナー・秘書科の状況			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	3人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 秘書検定2級、秘書検定準1級、色彩検定、マナープロトコール検定3級 Microsoft 検定（Excel・Word・PowerPoint）、観光英語検定、手話検定など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状 ※2021年度 ビジネスマナー・秘書科の状況		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	大学併修学科 昼間制 (4年制)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3 4 5 6 単位時間/単位	4824 単位時間	0 単位時間	684 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (大学併修学科の内数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (大学併修学科の内 数)	兼任教員数 (大学併修学科の内 数)	総教員数 (大学併修学科 の内数)	
80人		57人	3人	5人	50人	55人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等 (概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている。

2022年度 大学併修学科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	12人 (80.0%)	3人 (20.0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>JAL ロイヤルケータリング株式会社 日本トラフィックサービス株式会社 株式会社FMG コンラッド東京 ヒルトン東京 リゾートトラスト リッツカールトン東京 帝国ホテル 東武ホテルズマネジメント JR 東日本サービスクリエーション ヤマダ電機 菱建基礎株式会社 ヒルトンお台場 等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>Microsoft 検定（Excel・Word・PowerPoint）、TOEIC、みんなの外国語検定 総合取扱管理者</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	8人	0%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>進路変更 体調不良（精神疾患） 出席不良からの成業不可 就職</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養専門課程	英語キャリア科 昼間制 (2年制) キャリアデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2016 単位時間	756 単位時間	216 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (英語キャリア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (英語キャリア科の 内数)	兼任教員数 (英語キャリア科の 内数)	総教員数 (英語キャリア 科の内数)	
80人		11人	1人	1人	16人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養専門課程	英語キャリア科 昼間制 (2年制) 海外留学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2016 単位時間	756 単位時間	216 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間				
生徒総定員数 (英語キャリア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (英語キャリア科の 内数)	兼任教員数 (英語キャリア科の 内数)	総教員数 (英語キャリア 科の内数)	
80人		0人	0人	1人	16人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オープンキャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養専門課程	英語キャリア科 昼間制 (2年制) グローバルビジネス・大学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1728 単位時間	2232	756	216	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
生徒総定員数 (英語キャリア科の内 数)		生徒実員	うち留学生数	専任教員数 (英語キャリア科の 内数)	兼任教員数 (英語キャリア科の 内数)	総教員数 (英語キャリア 科の内数)	
80人		5人	0人	1人	16人	17人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 専門分野に留まらず、総合力・人間力を身につけるカリキュラムが充実している。総合学院としてのメリットを最大限に活かし、複数学科が協働して授業以外のプログラムにも力を入れている。例えば、学生組織で動く「学院際」や「オフ・キャンパス」も学生が主体性やチャレンジ精神、課題解決力を醸成する機会である。また、学生が普段学んでいる事柄を社会や地域に活かしていく学習機会を作り、常に世の中を意識することを教えている。加えて、毎年10校の海外姉妹校から留学生と教授を迎えて学院全体で国際交流をする「インターナショナルウィーク」を始め、多数の海外研修プログラム、常に英語でコミュニケーションをとることができるティーチングアシスタントが常駐しているなど、学生が日常的にグローバルな価値観を吸収できる環境作りにも力を入れている

2022年度 英語キャリア科として

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ウエスティン東京ホテル、株式会社 Lupinus（総合職）、(株) Arch and Starts ホテル・エアライン業界			
(就職指導内容) キャリアセンター主導により、入学直後からキャリアガイダンスを開始し、自分自身の理解、社会の理解、働くことへの理解への意識付けを行う。また、就職模擬試験を始め、一般常識対策・適性試験対策（SPI）・集団及び個人面接・グループディスカッションなどの指導はもちろん、小論文や履歴書添削も行い万全のバックアップ体制をとっている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 実用英語検定 TOEIC マナー・プロトコール検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	1人	5.3%
(中途退学の主な理由) 学力不足進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任はもちろん、講師の先生にも協力を仰ぎ、情報共有の徹底を心掛けながら学生指導に取り組んでいる。学生たちの遅刻・欠席・授業態度など彼らの些細なメッセージを見逃さないようにしている。1年に2回以上の個人面接を実施し、学習意欲や学生生活全般の聞き取りを行っている。また、スクールカウンセラーが常駐しており、学生自らがカウンセリングを受けることができる。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科 (修業年限) コース名称	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
エアラインサービス科 昼間制 (2年制) フライトアテンダントコース グランドスタッフコース グランドハンドリングコース エアラインビジネス・大学コース	200,000 円	750,000 円	330,000 円	
ホテル科 昼間制 (2年制) サービススタッフコース ホテルビジネス・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
観光・ツーリズム科 昼間制 (2年制) トラベルスタッフコース ニューツーリズムコース ツーリズム開発・大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
鉄道交通科 昼間制 (2年制) 鉄道・運輸コース 鉄道ビジネス・大学コース	200,000 円	450,000 円	330,000 円	
ブライダル科 昼間制 (2年制) プランナーコース ビューティーコンシェルジュコース ライフイベントプロデュース・大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
総合ビジネス科 昼間制 (2年制) 事務エキスパートコース 好きなことを仕事にするコース 大学コース	200,000 円	550,000 円	330,000 円	
大学併修学科 昼間制 (4年制)	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
英語キャリア科 昼間制 (2年制) キャリアデザインコース 海外留学コース グローバルビジネス・大学コース	200,000 円	650,000 円	330,000 円	
就学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2021年度評価について、学校HPに公開している。 (掲載： https://www.technosac.jp/department/syllabus/)		
2021年度評価について、学校HPに公開している。		
2021年度～2022年度 5名の委員を選出し学校関係者評価委員会を組織済み。 各位委員の知見を生かし教育内容・学校運営等について評価を実施する。 評価内容を理事会、ボード会、教務委員会に報告し、次年度以降に取り組む。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
NPO法人 理事	2023年4月1日～ 2025年3月31日	NPO法人
商社 役員	2023年4月1日～ 2025年3月31日	企業
ホテル 管理職	2023年4月1日～ 2025年3月31日	企業 (卒業生)
ウェディング会社 管理職	2023年4月1日～ 2025年3月31日	企業
学校法人 評議委員	2023年4月1日～ 2025年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2023年3月に委員会を開催、2021年度評価をHPで公開している。 (掲載： https://www.technosac.jp/department/syllabus/)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPアドレスは https://www.technosac.jp/air/ 資料請求は https://www.school-go.info/19gi13/technosac/form.php?fno=1&fsno=1&nns0=72

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113321000034
学校名	東京エアトラベル・ホテル専門学校
設置者名	学校法人田中育英会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		38人	36人	38人
内訳	第Ⅰ区分	26人	23人	
	第Ⅱ区分	-	11人	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				39人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	0人	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-	0人	-
計	-	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。